



主催：(特非) ボランタリーネイバース

次のステージを支える「かなめびと(組織運営コアスタッフ)」 養成による組織基盤強化事業・第1期支援対象団体 ＜報告会・交流会＞

～事業責任者と事務管理責任者の両輪と組織を超えた「たすかりあう」関係づくりを目指して～



NPO 法人ボランタリーネイバースが、休眠預金等活用制度の活動支援団体として実施した第1期支援対象団体への組織基盤強化の 伴走支援の成果を共有する報告会・交流会の開催報告です。支援対象団体や伴走支援を担当した専門家が集まり、意見交換や交流を深めることで、組織や立場を超えた「たすかりあう」関係を築きました。

■日時:2025 年 3 月 21 日(金)10:00～12:30

■参加者:46 名

プログラム:

- ①あいさつ、事業の概要説明、支援対象団体、専門家の紹介
- ②次世代につなぐための実践事例報告(3 団体)
- ③意見交換「たすかりあう関係づくりのポイント」(グループワーク)
- ④おやつとドリンクを楽しみながら交流会

■会場:ウインクあいち 1302 (名古屋市中村区名駅 4 丁目 4-38)

■参加対象:申請を検討したい団体の関係者、NPO 支援に関わりたい専門家、関心のある方



【あいさつ】内田淳さん(一般財団法人日本民間公益活動連携機構助成 事業部長)



このたびは、新しく始まった活動支援団体の取り組みについて、記念すべき第1回目の報告会にご参加いただきありがとうございます。制度創設初年度は4つの活動支援団体が選定されました。活動支援団体の取り組みは、社会課題の解決を担う人材を育成し、皆様が持続的に課題に取り組める仕組みを築くことを目指しています。まだ始まったばかりの制度ですので、今後改善すべき点も出てくるかと思います。皆様の活動内容や込められた思いをぜひお聞かせいただき、今後の制度改善に活かしていきたいと考えております。

【事業の概要説明】中尾さゆりさん(NPO 法人ボランタリーネイバース 理事長)

かなめびとにおける「組織運営コアスタッフ」とは、組織のマネジメントやバックオフィス業務の中核を担う人材の総称です。今回は、3 団体を 5 名の専門家で支援を行いました。その事例をこれから紹介します。今回のテーマである「たすかりあう関係」は、支援する側・される側という立場を超えた関係性を築くことの重要性を表現したく、名付けました。この言葉は、長野県上田市の「NPO 法人場づくりネット」が使用していたものをお借りしています。



実践事例報告①「NPO 法人エム・トゥ・エム」

団体概要:暮らしやすいまちづくりを推進するため、地域に広がるネットワークを構築することを目的に活動しています。行政や他団体と連携し、地域の問題解決を支援する中間支援団体です。主な活動として、瀬戸市自然児童遊園の指定管理者としての運営、食糧支援や子どもの居場所づくり、外国籍住民への支援、そして地域住民の交流と困りごと解決の場として、麻雀教室や絵手紙教室、野菜市、便利屋などを提供しています。

支援の成果目標

- 1) 会計について理事長が実務をすべて担当している状況を見直し、引き継ぎが可能な状態をつくる
- 2) 比較的新しい NPO 法人の運営・経営について学び、将来の NPO 運営イメージをクリアにする
- 3) 活動・団体を継続のため、世代交代の道筋・イメージを持つ方法について学ぶ(事業承継計画)

| 回数 | 支援テーマ | 支援内容 |
|----|----------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 会計に関連する業務の実態把握①(会計編) | ・現在の会計業務に関する業務フローの把握 ・帳票や会計ソフト(エクセル)の現状を見ながら現状の流れを把握する ・手順がまとまっていない場合は業務フロー作成 ・会計ソフトの利用等の業務標準化・効率化の方向性意向聞き取り |
| 2 | 会計に関連する業務の実態把握② | ・第1回で把握した業務フローについての確認 ・税務の処理についてのチェック(源泉所得税、法人税、消費税等の納税義務と対応) |
| 3 | 将来の役割分担 業務フローの改善 | ・役割分担の確認 ・業務フローの明確化 ・分業に向けた実装①(各種帳票、会計ソフトの導入や自動化を想定) |
| 4 | 承継に向けた学習① | ・NPO 法人の運営基礎 ・グループ学習会(チームこれからを中心に) ・分業に向けた実装での困りごとヒアリング |
| 5 | 分業に向けた実装 | ・分業に向けた実装①に着手してみえてきた不安をつぶす |

専門家:森友子さん(税理士)

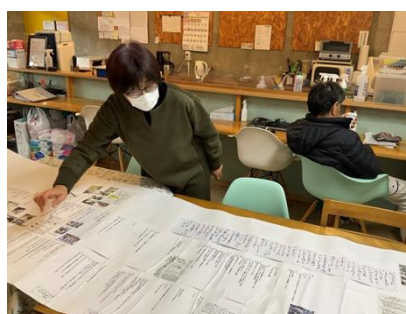
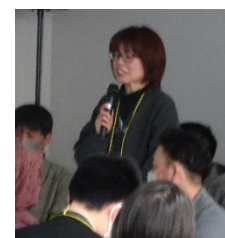
理事長が一人で担っていた会計作業の引継ぎに取り組みました。初回は理事長と一部役員のみが出席しましたが、2回目以降は事業承継に意欲のある「チームこれから」のメンバーも加わり、現状の共有を行いました。複雑な会計 Excel ファイルを簡素化するため、会計ソフト導入を検討し、実際に入力体験して利便性を確認。現金管理も分担できる仕組みにしました。作業を進める中で課題も整理され、都度対応しています。メンバーも積極的に意見し、団体の持続性が見えてきました。



エム・トゥ・エム「チームこれから」からのコメント

会計ソフト導入で、これまでの会計業務の負担軽減と効率化を期待しています。先日 NPO 活動の基本を学び、法改正や補助金の理解の重要性を再認識しました。現在は「みんなで全部やる」体制ですが、将来的な事業承継のため、業務の「見える化」を進めています。

一つの課題を解決すると、他の問題も浮上しますが、これを機に一つずつ進めていきたいです。会計を通じて法人の全体像を把握でき、これまで進まなかった事業引き継ぎもようやく一歩を踏み出せました。次回の理事会では、主要事業の業務を全て洗い出し、分担を検討する予定です。



実践事例報告②「NPO 法人ファミリーステーション Rin」

団体概要：誰もが個性を尊重され、力を発揮できる社会、そして子どもも親も自立し生き生きと暮らせるまちづくりを目指しています。子育て家庭に寄り添い、切れ目のない多様な支援で安心して子育てできる環境を提供しています。2004 年の法人格取得以来、「つどいのひろば事業」や日進市の子育て総合支援センターの指定管理、訪問型サポート、居住支援など、幅広い活動を展開しています。

支援の成果目標

- 1) 担当事業の方向性と法人としての目標の関係性が整理され理解できるようになる
- 2) 事業承継のプロセスを関係者と共有し、承継を達成するために必要な事項を計画案としてまとめる

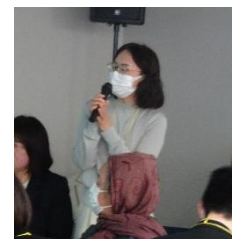
| 回数 | 支援テーマ | 支援内容 |
|----|--------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 今後の話し合いのルール作りと組織課題の洗い出し | <ul style="list-style-type: none"> ・今回の支援開始に当たり、話し合いのルールをつくる。 ・組織が持っているリソースと組織課題を洗い出す「ハード」「ソフト」「ヒューマン」の項目ごとに「すでにあるもの」「今はないが今後、必要なもの」を作成。 ・整理した課題と手立てをどのように取り組んでいくかを検討する。 |
| 2 | スタッフ像（Rin が大切にしたい価値観）の作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価、キャリアプランの事例紹介 ・スタッフがもっとよい「力」、大事にすべき「価値観」「態度」「姿勢」を考えるワークショップの実施 |
| 3 | Rin が大切にしたい価値観の完成 | <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフがもっとよい「力」、大事にすべき「価値観」「態度」「姿勢」の検討をすすめ、検討した内容を 5 つから 7 つの文章としてまとめる ・作成した文章をもとに「Rin が大切にしていること」の図を作成する |
| 4 | 事業承継の具体的な組織イメージの作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業承継の具体的な組織イメージを図として作成する ・作成したイメージ図に対して、どのような対策ができるか、いつから、いつまでに取り組みが必要なのかをまとめる |
| 5 | キャリアプラン表の作成 | <ul style="list-style-type: none"> ・キャリアプラン表を作る目的の確認 ・各活動でキャリアプラン表を作る上でおよそそのレベル分け |
| 6 | キャリアプラン表のスケジュール作り | <ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーサポート、訪問事業でのキャリアプラン表の完成 ・他の活動でもキャリアプラン表を作り、活用に向けたスケジュール決め |

専門家：田口裕晃さん

まずは 5 人が安心して率直に意見交換できるよう話し合いのルール作りをしました。できる限り介入を抑え、5 人の対話を優先しました。今回の支援は事業承継を目的とし、20 年間事務局長として組織をけん引してきた現リーダーから、今後経営を託される 5 人が、自ら判断できる「軸足」を持つことを目指しました。何をすると、この軸足がもてるようになるかを 5 人のメンバーと考えて、価値観の図とキャリアアップ表の作成を支援内容に取り入れました。結果として、価値観の擦り合わせが進み「腰を据えて話せた」「モヤモヤが晴れた」という声がありました。

ファミリーステーション Rin からのコメント

支援当初は方向性に迷いありましたが、法人の現状と課題を洗い出す中で、具体的な支援内容が見えてきました。次世代メンバーと共に法人の核を再認識し、「求めるスタッフ像」も共有できたのは大きな収穫です。キャリアアップ表の作成も進み、次期面談での活用が見込まれます。事業承継のスケジュールを共有することで、法人運営への自覚とチーム意識が向上。また、プログラムで作成した話し合いのルールを他の打ち合わせでも活用し、効率化に繋がっています。



実践事例報告③「認定 NPO 法人からし種」

団体概要:「誰もが大切な存在であることを感じあえる社会」を目指し、生活に困窮する障がいのある方々を支援しています。障がいによる生きづらさや問題解決を図り、地域での安心した生活と人間関係の再構築を支援することで、全ての人が尊重される社会の実現に貢献します。具体的には、野宿生活者支援から始まり、相談支援、生活介護、就労継続支援 B 型、ヘルパーステーション、グループホーム、生活困窮者支援などを提供しています。

支援の成果目標

- 1) 助成金を申請する際のポイント、コツへの理解が深まる
- 2) 組織図・職務分掌が整理され、組織内の各部署や役職、担当者が行うべき仕事の配分がなされ、責任の所在と範囲を明確化する
- 3) 将来の組織運営に関する検討がすすむ

| 回数 | 支援テーマ | 支援内容 |
|----|-----------|---------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 助成金活用 | ・助成金への申請を検討する内容のヒアリング ・助成金公募要領の確認 |
| 2 | 助成金活用 | ・WAM 助成申請内容の検討(第 1 回) |
| 3 | 助成金活用 | ・WAM 助成申請内容の検討(第 2 回) |
| 4 | 組織運営の現状把握 | ・現状の組織運営についてのヒアリング ・現在の意思決定・決裁システムの確認(困っていることなど) ・職務分掌に関わる規程類等を中心とした整備の検討 |
| 5 | 組織運営の現状把握 | ・組織運営の中核を担っているスタッフ(統括)の業務の洗い出し |
| 6 | 規程类等整備 | ・現状の組織図の更新もしくは、事業体系図の作成 |

専門家:川北輝さん

助成金申請は、担当・福壽さんの想いを核に、佐藤さん、川木さん、事務局、専門家で協力。福壽さんの熱意ある表現を活かしつつ、伝わりやすい文章にするため、申請書の確認と修正を繰り返して行いました。タイトなスケジュールでご負担をおかけしたため、今後は期間に余裕のあるプログラムを目指したいです。

専門家:矢内淳さん

組織運営の見直し支援では、団体内の合意形成を目指し、組織図や内規の案作成に取り組みました。団体に役立つ成果を残すため、機能する組織づくりを念頭に置いています。訪問時には、組織見直しの必要性や意義を丁寧にヒアリングし、団体の課題に寄り添った支援となるよう心がけました。

からし種からのコメント

助成金申請では、具体的なアドバイスのおかげで、無事提出できました。ポイントを押さえた指導は大変参考になりました。また、懸案だった世代交代に伴う法人の組織化については、外部の方を交えて落ち着いて話し合う機会を持てました。これにより、後回しになっていた課題に丁寧に向き合い、今後の道筋が見えてきたことは大きな収穫です。



審査員・評価委員からのコメント

●津田秀和さん（愛知学院大学経営学部教授）

普段、NPO の事業承継に関する研究をしています。本日の報告を伺いながら、「意思決定のグレジャムの法則」を思い出していました。これは、マネジメントや組織体制といった重要なテーマほど後回しにされがちで、先に形式化しやすい業務やルーティン作業に取り組んでしまうという傾向を示すものです。その意味で、今日のように本質的なテーマに向き合い、前向きに、しかも強いコミットメントを持って議論されていたことは非常に印象的で、学びが多い時間となりました。どの団体にも、メンバーそれぞれが持つ思いや意識のベクトルには違いがありますが、それが見え始め、楽しそうに語り合う姿がとても良かったです。事業承継の研究をしている立場からも、世代交代のきっかけが少し見えてきたように感じました。「これで踏み出せた」「このままではいけないと気づいた」など、印象的な言葉も多く聞かれ、とても良い話を聞くことができました。



●伊東かおりさん（ファシリテーター）



私は現在、東京の会社にオンラインで勤務しながら、札幌に住んでいます。もともとは愛知出身で、20代の頃は愛知県のNPOで活動していました。

皆さんの発表を伺いながら、私自身が今学んでいる「EQ（感情知能）」の視点から、いくつか感じたことがあります。感情は人間にとってとても大切なものであり、それが組織の中でも重要な役割を果たします。審査会の際には、焦りや不安といった感情が皆さんの言葉や表情から感じ取られましたが、今回の報告会では、まだ不安はあるにせよ、全体的に

安心感が漂っていたのがとても印象的でした。

不安や焦りという感情は、前に進む力になる一方で、長くは持ちません。一方で、地に足をつけ、自信をもって前を向くことができれば、その歩みは持続可能で、自分らしい道を歩んでいけるのだと思います。3 団体の取り組みから、そうした前向きな変化を感じられて、とても嬉しく思いました。



意見交換「たすかりあう関係づくりのポイント」(グループワーク)

①はじめに:自己紹介

・お名前・所属(あれば)・今日の感想

②意見交換「たすかりあう関係をつくるために必要なこと・できること」をグループで話し合う

・私が経験した「たすかりあう関係」らしきこと、「たすかりあう関係」って、なんだろう

・「たすかりあう関係をつくるために必要なこと・できそうなこと」

③グループで話し合った内容を全体で共有

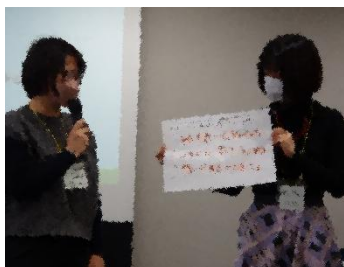
1くみ:NPO 法人エム・トゥ・エムさん/森友子さん

【ファシリテーター:CCF 宇都宮さん】

①小さな助かった(プレゼント)を集める ※相手の気持ちを考えて

②学び合う

③「助けて」を応援する/言える関係性をつくる



2くみ:NPO 法人ファミリーステーション Rin さん/田口裕晃さん

【ファシリテーター:CCF 三島さん・VNS 粉川さん】

① 助けてほしいこと、できることをそれぞれ共有

② 安心して、話せる、心をうちあけられる

③ 「助かりあう」言葉をスローガンに広げる

3くみ:認定 NPO 法人からし種さん/川北輝さん 矢内淳さん

【ファシリテーター:VNS 齋藤さん・CCF 神原さん】

① それぞれに役割がある

②つながる、深く知る、リスペクト

② 思いがある、承継する



4くみ:活動支援団体全般について

【ファシリテーター:VNS 中尾さん】

① 助かりあう関係実践として、お互いに質問「おしえて」

② 不足だったこと

③ 承継済/これから

おやつとドリンクを楽しみながら交流会



ボラネイ☆キャラバン Vol. 42「かなめびと養成による組織基盤強化事業・第1期支援対象団体 報告・交流会」
(ボランティアネイバース「2025 年 3 月 21 日」より)

発行:特定非営利活動法人ボランティアネイバース 編集:青木研輔、田口裕晃 2025年 7 月発行